

## ファーマフーズ 健康需要見込む

# 東南アジア戦略を強化

機能性食品素材開発  
のファーマフーズ(京  
都市西京区)は、4月  
にタイ、5月にはマレ  
ーシアで事業を開始す  
るなど東南アジアでの  
戦略を強化している。

健康志向の高まりから  
需要が見込める機能性  
食品向けの素材を売り  
込み、成長市場を開拓  
する。  
タイでは、現地の大  
手財閥「CPグループ」

と組み、アミノ酸の一  
種「ファーマギャバ(G  
ABA)」を販売する。  
ギャバはリラックス効  
果があるとされ、同社  
では独自技術で生産し  
たファーマギャバとし

て食品各社に販売して  
いる。

CPグループはファ  
ーマギャバの提供を受  
け、同成分を配合した  
機能性飲料を製造。近  
くグループのコンビニ  
などで販売する。20  
13年7月期は約5千  
万円、来期以降は2  
3億円の売り上げを見  
込む。

さらにベトナムとイ  
ンドネシアでもファ  
ーマギャバの早期販売を  
目指している。

一方、マレーシアで  
はバイオ企業「アンプ  
リオ社」と、卵黄由来  
の抗体「オボプロン」  
に関する技術移転契約  
を結んだ。同社はファ  
ーマフーズに約1億1  
千万円のライセンス料

を支払う。

両社は今後、オボプ  
ロンを現地の食品会社  
に供給し、東南アジア  
で感染率の高いピロリ  
菌の抗体サプリメント  
の製品化を目指す。初  
年度の15年7月期に約  
5千万円の売り上げを  
見込む。ファーマフ  
ーズは「バイオ技術のグ  
ローバル展開で、勢い  
のある東南アジア市場  
をとりこみたい」とし  
ている。(堀内陽平)